



RI Japan 2023

世界で急進展するサステナブルファイナンスと日本の対応

5月24～25日、東京虎ノ門ヒルズフォーラム（時刻はすべて日本標準時）

1日目5月24日

08:15 開場

09:00 Responsible Investorからの歓迎の挨拶

09:15 プレナリー1：ESG基準のグローバル化と現地化、および日本での導入状況

- 各国・地域における規制上の最新開示基準の比較：SFDR、SEC、英国、アジア基準は収れんが進む方向にあるのか？
- 開示基準の厳格化はサステナブルアセットへの資本流入に明白な影響を及ぼすのか？
- 日本が導入するのは、ISSBそれともSSBJ？移行ニーズを踏まえ、日本に適した、現地志向の強いアプローチはあるのか？

10:05 基調講演：日本におけるグリーンファイナンスの推進

10:20 ネットワーキングブレイク

11:00 プレナリー2：グリーントランスフォーメーション（GX）を通じて
ネットゼロに向けた日本の歩みを加速する

- 「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」に掲げられる目標とは
- 実現・達成の可能性はどの程度なのか？
- GX経済移行債と移行ファイナンス はどのような役割を果たす可能性があるのか？
- 日本のエネルギー供給の構造変化を加速させるために、さらに必要な要素と、他のOECD加盟国から得られる教訓とは？

プログラムに関するご質問は、Andrew Wolffまでメール（andrew.w@peimedia.com）でお問い合わせください。



11:50 プレナリー 3：データを取り巻く状況の進化とデータ開示における日本の役割

- 金融庁が策定した「ESG評価機関・データ提供機関に係る行動規範」を理解する ESG市場にどのような影響を及ぼすのか？
- ESG格付けの投資家信頼感に明白に影響を及ぼす可能性、およびESG基準強化につながる可能性とは？
- 代替データセット：次世代のESGデータとは？

12:40 - 昼食

<p>13:30-ストリームA1 急拡大する自主的な炭素排出量取引市場。</p> <p>急拡大する自主的な炭素排出量取引市場。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ネットゼロ戦略の一環としてカーボクレジットをどのように活用できるか？ - 日本で炭素排出量取引を加速するうえで、GXリーグが果たす役割とは？ - 国際的な炭素排出量取引を実現する方法とは？ 	<p>13:30-ストリームB-1：投資プロセスに人権を盛り込む</p> <ul style="list-style-type: none"> -- 人権に対応する方向への変化を金融機関に促す外部環境とは？ -- 金融機関にとっての重要な変化要因とは？（法律/規制改正など） -- 大手金融機関が実践するベストプラクティスとは？ 	<p>13:30 ストリームC1-：日本でのESGファンドの開示</p> <ul style="list-style-type: none"> - 現在の規制環境について、欧米と日本を比較。 - ファンド規制のベストプラクティス - ESG投資規制の影響
<p>14:15 5分間の休憩</p>	<p>14:15 5分間の休憩</p>	<p>14:15 5分間の休憩</p>
<p>14:20-ストリームA-2：Just transition（公正な移行）への投資</p> <ul style="list-style-type: none"> - Just Transitionとネットゼロに向けた取り組みのバランスを取る。 - エネルギー移行の社会的影響の軽減方法を知る - 地政学とエネルギー危機がJust Transitionに及ぼす影響 	<p>14:20 ストリームB-2：ダイバーシティとインクルージョン</p> <ul style="list-style-type: none"> - 日本で男女間の賃金格差解消を加速する方法と女性の役員登用率を向上する方法とは？ -- DEI面での効果的な変更管理策の導入、および企業業績向上との関係 -- ニューロダイバーシティのDEI面でのメリット 	<p>14:20 -ストリームC-2 ネットゼロ活動の財源確保策</p> <ul style="list-style-type: none"> - Transition Finance（移行ファイナンス） - その意味とは？ 普遍的定義の確立を目指して。 -- サステナビリティ関連ローンとグリーンボンドはどの程度の影響を及ぼす可能性があるのか？ -- Blended finance（ブレンドファイナンス）によって資金需給ギャップを埋める方法とは？



15:05 - 交流セッション (休憩)	15:05 - 交流セッション (休憩)	15:05 - 交流セッション (休憩)
15:35 - ストリームA-3: 持続可能な海とブルーエコノミー - 日本の海が将来低炭素にシフトする方法とは？ - ブルーボンドとブルーカーボンドクレジットが果たす役割とは？ - 持続可能な漁場作り：生物多様性の保全と食品の安全を関連付ける	15:35 ストリーム B-3 ESG ケーススタディの紹介 - ESG が明白な成果をもたらした事例	15:35 ストリームC3 実物資産に関する円卓会議 - 不動産とインフラ市場におけるESG分野のベストプラクティスに関する主な論点とインサイト

16:25 休憩

16:30 プレナリー 4：ESGの今後の行方と投資家への影響

- 最近の米国での反発、ウクライナ戦争、エネルギー危機、グリーンウォッシングに対する懸念の高まりといったESG活動に対するマイナス要因は、長期的にどのようなインパクトを及ぼすのか？
- ESG活動への信頼を復活させるためにはどのような措置が必要であり、日本投資界はその動きを後押しするために何ができるのか？
- 日本のESGコミュニティは米国での反発からどのような教訓を得ることができるか？

17:30 - レセプションパーティ

2日目：5月25日

08:00 開場

08:30：実践ワークショップ：ネットゼロ目標の達成方法

このワークショップの目的は、投資家がネットゼロという目標を設定し、その進捗を監視する方法に関するベストプラクティスとインサイトを伝授し、影響する企業向けの関与戦略について話し合うことにあります。以下がワークショップの論点になります。

- ネットゼロ目標の設定、監視のために投資家はどのようなステップを踏むことができるか？
- 気候変動はポートフォリオに現在どのような影響を及ぼしているか？

プログラムに関するご質問は、Andrew Wolffまでメール (andrew.w@peimedia.com) でお問い合わせください。



- 気候変動対策に明らかに本腰を入れ、行動するアセットオーナーをこの地域で増やすには、何が障害となるか？
- ネットゼロの進捗と脱炭素化に関して、企業にどのように働きかけることができるか？
- ネットゼロ達成軌道から外れている企業に対して、投資家はどのような促進戦略とツールを利用できるか？

<p>09:45 - ストリームA-4：日本企業の脱炭素化の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> - 日本企業は脱炭素化のためにどのような取り組みを行っているか？ -- 伝統的な化石燃料集約型企業は、どのようにエネルギー転換を進めているか？ -- 企業が脱炭素化目標と生物多様性に関する課題を統合している方法は？ - 	<p>09:45 - ストリームB-4：人材管理の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> - 企業価値評価における人材の重要性が高まっていることを理解する - 日本と海外での人材データの開示実務 - ベストプラクティスのケーススタディ 	<p>09:45 - ストリームC-4：ESGをアセットオーナーの視点から捉える</p> <ul style="list-style-type: none"> - 日本の機関投資家がESGに求めている本質的要素とは？ - アセットオーナーとアセットマネージャーの関係変化-報告・監視基準はどのように進化しているのか？ - 今後におけるアセットマネージャー選任の決定要因とは？
<p>10:30 - 15分間の休憩</p>	<p>10:30 - 15分間の休憩</p>	<p>10:30 - 15分間の休憩</p>
<p>10:45 - ストリームA-5：ネットゼロへの推進役として脚光を浴びるグリーン水素</p> <ul style="list-style-type: none"> - グリーン水素とエネルギー移行-脱炭素化は重厚長大産業にどのように貢献できるか？ - グリーン水素革命における日本の役割とイノベーションの奨励方法とは？ - 技術面とコスト面での制約とは？グリーン水素戦略の導入はどの程度現実的かつ効果的なのか？ 	<p>10:45 - ストリーム B5</p> <p>企業のサステナビリティと持続可能なサプライチェーン</p> <ul style="list-style-type: none"> - 大手多国籍企業が営利の観点から持続可能実務を導入するきっかけにはどのようなものがあるか？- サプライチェーンの持続可能性を向上するための企業の取り組みとは？ - 持続可能戦略の導入、およびKPIと目標に関する情報を一般人と投資家に伝えるうえで、企業が直面している課題とは？ 	<p>ストリームC-5：株主決議の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> - 社会、環境に対処し、決議を通じてロビー活動をするための最適な戦術とは？ - 決議の成否の主な決め手とは？ - 反ESG的決議への最適な対策



11:30 15分間の休憩	11:30 - 15分間の休憩	11:30 - 15分間の休憩
11:45-ストリームA-6 : 気候変動シナリオの計画 <ul style="list-style-type: none"> - 移行シナリオ：先行き不透明な状況での仮定とモデリング、政策遅延に伴う金融リスク。 - 移行遅延コストの見積もり：ダメージを受けるアセットの主たる影響。 - 不透明な時期における金融セクターでの気候変動リスク管理の将来 	11:45 - ストリームB-6 : ESGでAIとデジタル化を受容 <ul style="list-style-type: none"> - 日本でデジタル化と変化をいかに加速させ、ESGに関してデジタル化を適用できるか？ - デジタル化がサステナビリティの構築基盤である理由 - ESG報告でAI技術が将来担う役割 	11:45 ストリームC-6 ESG分野での将来のリーダーに関する円卓会議 <ul style="list-style-type: none"> - 日本の年功序列文化という保守的な障壁を次世代はどのように打ち破ることができるか？ - 業界でのキャリア構築に成功する鍵、および必要なスキルセットとは？ - 業界の若いリーダーの成功ストーリー。

12:30 - 昼食

13:45 - 基調講演

14:00 - 基調講演

14:15 - プレナリー 5 : 生物多様性の課題を社会の本流に

- ポートフォリオの生物多様性リスクの最適な管理方法とは？
- ポスト2020生物多様性フレームワークのCOP 15での採択について、投資家はどのように見ているか？
- データ取得への取り組み方法は？生物多様性データは信頼に値するか？

15:05 - ネットワーキングブレイク

15:45 - 基調講演



16:00 - 基調講演

16:15 - プレナリー6：投資戦略としてのインパクト投資の台頭

- 「インパクト投資」を紐解く - 2023年におけるその実践的意味合いとは？
- インパクト投資は、明白な変化と魅力的な金銭的見返りの両方をもたらすことができるか？
- インパクト投資はスケールアップしにくいという課題をどのように克服できるか？

17:05 - カンファレンスの閉幕